

19の世界遺産 どこにあるの!?

世界遺産 MAP

19の世界遺産のロケーションを地図で見よう。

【オーストラリアの世界遺産一覧】

- 1 グレートバリアリーフ
- 2 カカドゥ国立公園
- 3 ウィランドラ湖群地域
- 4 ロード・ハウ諸島
- 5 タスマニア原生地域
- 6 オーストラリアの Gondwana 雨林
- 7 ウルル・カタ・ジュク国立公園
- 8 クイーンズランドの湿潤熱帯地域
- 9 西オーストラリアのシャーク湾
- 10 フレーザー島
- 11 オーストラリアの哺乳類化石地域
- 12 ハード島とマクドナルド諸島
- 13 マッコリー島
- 14 グレーター・ブルー・マウンテンズ地域
- 15 パーナル国立公園
- 16 王立展示館とカールトン庭園
- 17 シドニー・オペラハウス
- 18 オーストラリア囚人遺跡群 (全豪に 11 箇所所在。ここでは WA 州のフリーマントル刑務所を例示する)
- 19 ニンガルーコースト

※掲載順は UNESCO World Heritage Centre に、日本語名称は公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の表記に準ずる。



こんなにあっただの!?
19の世界遺産!

車で行ける所や、船や飛行機でなければ行けない所もあります。また、その地を訪れることが制限されている場合があります。訪れる前に確認してください。

世界遺産になる基準は?

UNESCO 登録による世界遺産とは、人類にとって顕著な普遍的価値があると UNESCO の委員会に認められた原生地や島、歴史的記念碑や建築物、都市を指します。つまり、規定に沿って調査や審議が行なわれ、認められて初めて世界遺産となるのです。

【世界遺産の登録基準】

1. 人間の創造的才能を表す傑作である。
2. 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値感の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
3. 現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在 (少なくとも希有な存在) である。
4. 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
5. あるひとつの文化 (または複数の文化) を特徴づけるような伝統的居住形態若しくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのふれあいを代表する顕著な見本である (特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの)
6. 顕著な普遍的価値を有する出来事 (行事)、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある (この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい)。
7. 最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。
8. 生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
9. 陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。
10. 学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。

★文化遺産は1~6、自然遺産は7~10、文化遺産と自然遺産の両方の基準で登録されたものは複合遺産とします。 ※情報元：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

オーストラリア国内にある「19」の世界遺産は、計り知れない大自然の中で人類がどのように進化を遂げてきたかという軌跡を“発見”させてくれるでしょう。